SEIWA®
https://www.seiwa-c.co.jp
SINC
Style of Interface to the Next Communication

221209

取扱説明書B

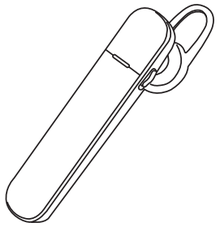
ご使用前に必ずお読みください

※取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/	BTE20X
パスキー/	0000（ゼロを4つ）

BTE200

Bluetoothイヤホンマイク+ケース



この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書（取扱説明書）及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

1 はじめに

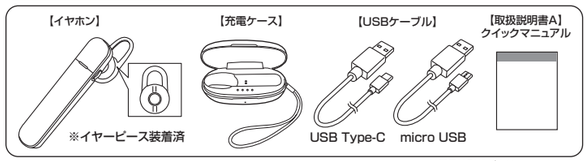
本製品はBluetooth（HFP/HSP）対応の携帯電話、スマートフォン、パソコンなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続機器を「接続端末」もしくは「携帯電話」、「スマートフォン」と表記しています。

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

短く押す	短く連続で押す	長押しする
1 例）短く1回押す	2 例）連続で2回押す	4秒 例）約4秒間長押しする

セット内容の確認

●セット内容がすべてそろっていることを確認してください。



付属品は形状が変わることあります

安全にご使用いただくために

●以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

⚠警 告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注 意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	禁止（してはいけないこと）を示します。	強制指示（必ず実行していただくこと）を示します。

⚠警 告

禁止 火の中に投下したり、高温（50℃以上）の環境下に保管、放置しないでください。
イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

禁止 本体（イヤホン）は流水に当てたり水没させないようにしてください。
部品（イヤホンや充電ケース、ケーブルなど）は非防水なので濡れた手でさわらないでください。
流水に当てたり水没した場合は故障します。故障や火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となりますのでご使用をお止めください。また、本体、特に充電端子や充電ポート内が濡れた場合はスイッチ操作や充電はせず、乾いた布で水を拭き取り、濡れた箇所を完全に乾燥させてください。
また、本体内に水などが内部に入ったままご使用になると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

禁止 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。
イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、液漏れさせる原因となります。

禁止 分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、イヤホンの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。イヤホンの内蔵充電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。
USBケーブルの直接配線、傷がついた状態でのご使用、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

禁止 走行中の運転者による携帯電話及び本製品の操作、ご使用は絶対にやめてください。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取り扱い、USBケーブルの抜き差し操作も運転操作の妨げになりますのでやめてください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐停車してからおこなってください。

禁止 小さなお子様（乳幼児）やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。また、本製品には電池が内蔵されていて大変危険です。

指示 付属のUSBケーブルをお使いください。
出力がDC5V1A以上のUSB充電器を推奨致します。低出力の充電器ですと、満充電まで長くかかったり、ほとんど充電されない場合があります。
また、USB規格外の電源、電圧で使用すると、感電、発火、発熱、故障、けがの原因となります。
また、お車のUSBポートで充電する場合は、車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。

指示 電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所（病院、交通機関、一部の工事現場など）では、各施設の指示に従ってイヤホンの電源をオフにしてください。

禁止 本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

禁止 航空機に搭乗する際は、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の運航に影響を及ぼすおそれがありますので、必ず事前にご確認の上、ご使用ください。

⚠注 意

禁止 お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

禁止 極端な低温（0℃以下）での保管、放置はやめてください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

禁止 本体並びに付属品を屋外（車外）や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

指示 ポケットやバッグに収納するときは、USBケーブルなどを繋がず、イヤホンの電源をオフにしてください。
衝撃や無理な力で故障の原因になったり、メインスイッチが押されて、誤って通信をしてしまうおそれがあります。

禁止 クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。
本製品に傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

指示 長期間使用しない場合は、携帯電話とのペアリングを解除して電源を切り、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所にUSBケーブルを繋がず保管してください。

指示 プラグ類を本体、充電器から抜く際は、必ず水平にゆっくり抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

禁止 付属しているUSBケーブル以外で、イヤホンを充電した場合の故障、事故に関して当社では責任を負えません。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

禁止 イヤホンのLED光源を直視しないでください。
目の健康をそこねるおそれがあります。

取扱い上のお願い

●ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
●本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能などの付随的保証は一切負いかねます。
●本製品を含むBluetooth機器同士で通話をすると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
●本製品は充電中の待ち受けはできません。充電中は電源がOFFになります。一度充電すると、スマートフォンとの再接続が手動になる場合があります。また、内蔵充電池の寿命を早めるおそれがありますので、必要時以外はなるべく電源を切ってください。

Bluetoothについて

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。スマートフォンなどのBluetooth搭載機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声やデータをやりとりすることができます。

本製品について

●本製品のイヤホンはBluetooth Version 5.1 Class2 に準拠、適合しております。上位互換性から、どのバージョンのBluetooth搭載携帯電話とも接続してご使用になれますが、当社で発表する適合機種以外の携帯電話とのご使用は保証しておりません。
●適合可能な携帯電話に関する情報は当社Webサイトの適合情報にてご確認ください。
●付属のイヤーピースは使用状況によって寿命が著しく異なります。ご使用前の不良や不具合を除き、製品保証の対象外とさせていただきます。
●内蔵充電池は通常に使用しても劣化する消耗品ですので、充電池の劣化による通話時間、スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。また、充電池の交換はできません。
●仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

2 製品仕様

主な仕様

項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 5.1 Class2
Bluetooth対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
周波数	2.4 GHz スペクトラム FHSS
クラス/通信距離	クラス2/最大10 m
電池形式・容量	リチウムイオン電池(3.7V)
充電時間/本体	約 3 時間 ※1 ※6
充電ケース	約 1.5 時間
連続通話（音楽）再生時間	最大約 12（12）時間 ※1
スタンバイ時間	最大約 70時間 ※1

項目	仕様
動作環境条件	温度 約-5～50℃
製品寸法・重量	H73× W16× D22 mm ※2
	約8.5 g（イヤホン本体のみ）
マルチポイント	○ （2台まで対応）
マルチペアリング	○ （8台まで対応） ※3
充電端子	microUSB
接続機器表示名	BTE20X ※4
パスキーコード	0000（ゼロを4つ） ※5
その他	HD VOICE（VoLTE+対応）

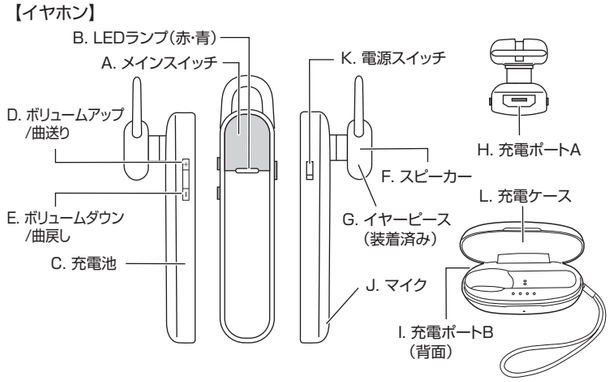
※1.使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。
※2.イヤーピースを装着していない状態の数値です。()内はイヤホン突起部を含まないイヤホン本体厚みです。
※3.電源オフにしても8台までの端末機器とのペアリング履歴を記憶できます（同時に待ち受けできるわけではありません）。
※4.接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ（検索）された際に表示される名称です。
※5.パスキーコードは工場設定のコードです。携帯電話とペアリングする際に必要となる場合があります。
※6.本体と充電ケースを同時に充電しますと、約3時間以上かかります。

対応プロファイルの正式名称

●HSP（Headset Profile）/ヘッドセットプロファイル
●HFP（Hands-Free Profile）/ハンズフリープロファイル
●A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）/高度オーディオ配信プロファイル
●AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）/AV機器リモートコントロールプロファイル

外観仕様

【イヤホン】



名称	機能・説明
A. メインスイッチ	応答/終話、再生一時停止などで使用します
B. LEDランプ	青色と赤色のLEDを内蔵。イヤホンの状態を表示します
C. 充電池（内蔵）	リチウムポリマー電池（充電池の交換はできません）
D. ボリュームアップ（VOL+）キー	音量を大きくしたり、曲送りなどに使います
E. ボリュームダウン（VOL−）キー	音量を小さくしたり、曲戻しなどに使います
F. スピーカー	通話やビープ音のためのスピーカーです
G.イヤーピース	取り外して交換可能です
H.充電ポートA	microUSB。付属のUSBケーブルで充電します
I.充電ポートB	USB Type-C。付属のUSBケーブルで充電します
J.マイク	通話用マイクです
K.電源スイッチ	電源の入切
L.充電ケース	本体を充電するケースです

商標について

●Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

3 使い方の説明（詳しくは取扱説明書Aをご覧ください）

お買い求めいただいた後、ご使用前に必要な手順

①本製品イヤホンを充電する

ご使用の前にイヤホンを充電して、満充電にしてください。（→「4.充電する」を参照）

②お手持ちの携帯電話やスマートフォンと本製品イヤホンをペアリングする

イヤホンはそのままではご使用いただけません。お手持ちの携帯電話やスマートフォンと、イヤホンをお互いに登録設定することで、無線通話が可能となります。この設定をペアリングといいます。（→別紙、<取扱説明書A>「②ペアリング（接続端末の登録）の方法」を参照）

4 充電する

充電をはじめる前にご確認願います

⚠充電をはじめる前に必ずお読みください

●本製品は充電池を内蔵しています。工場出荷時は50～70%の充電量ですが、開封時は放電により減っている場合もありますので、ご使用前に一度満充電してお使いください。
●充電には、必ず付属品のUSBケーブルを使用してください。
●充電器はDC5V1A以上を出力可能なものをご用意ください。
●お車で充電する際は、車のエンジンを掛けてからUSBケーブルを挿し込んでください。
●充電中はイヤホンのLEDが赤点灯し、約3時間で充電が終わると消灯に変わります。
●本製品にUSBケーブルをつないだまま耳や身体に付着させるのはお止めください。
●充電池の劣化を防ぐため、なるべく、連続8時間以上の充電は避けてください。充電が完了しましたら速やかにUSBケーブルを取り外してください。
●付属品以外のUSBケーブルや充電を使ったり、USB充電器が原因での使用上の事故、破損、不具合に関しては当社は責任を負えません。

充電の手順

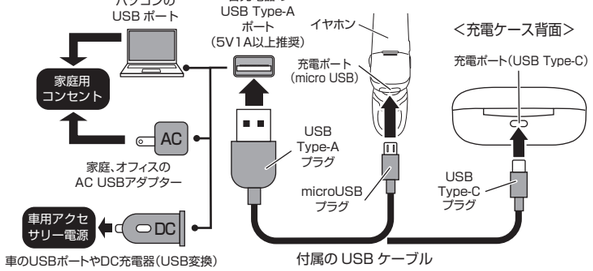
1 出力がDC5V1A以上のUSB-Type-Aの出力ポート付きパソコンやAC充電器、DC充電器を別途ご用意ください。車で充電する際は先にエンジンを始動してください。

2 AC充電器はコンセントに挿し、DC充電器はアクセサリー電源に挿して通電状態にしてから、USBケーブルのType-Aプラグ（大きい方）を挿し込みます（上下の向きにご注意ください）。

3 イヤホン上部の充電ポートにUSBケーブルの小さい方のmicroUSBプラグを挿し込みます。充電ケース背面の充電ポートにUSBケーブルの小さい方のUSB Type-Cプラグを挿し込みます。

4 充電が開始されるとイヤホンのLEDが赤く点灯します。ゼロから満充電までは約3時間かかり、充電完了になると消灯になってお知らせします。

<イヤホンと充電ケースの接続>



●プラグの抜き挿しの際は、必ずプラグの根元をしっかり持って、水平にゆっくり行ってください。
●イヤホンを長期間使用していなかったり、充電池が完全放電した状態では、LEDランプが点灯するまで時間がかかる場合があります。（数分かかる場合もあります）

5 イヤーピース

●出荷時にイヤーピースが本体に取り付けられています。
●交換する際はイヤーピースのタブ（円形の出っ張り）でない部分をつまんで、やさしくねじりながら取り外して交換してください※無理に剥がすと、破れ、切れなど破損の原因になります。
●紛失、破損した場合でイヤーピースだけをお買い求めいただきたい場合は、弊社WEBサイトか商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください（店頭販売の予定はございません）。
●イヤーピースがきちんとイヤホンのスピーカー部の根元まではまっている事を確認してから、耳にはめてください。

■主要操作一覧

イヤホンLED灯表示 早見表

5秒毎に1回青点滅	赤/青 交互点滅	赤5秒毎に1回点滅	赤 点灯	消灯
接続して待機中	ペアリングモード・探索中（非接続）	充電が必要な状態	充電中	充電完了

機能ごとの動作一覧

機能 / 状況	操 作	LED 表示（イヤホン）	音声・電子音
電源オン	電源スイッチを上にスライド	ー	「プルプル音」
電源オフ	電源スイッチを下にスライド	赤3回点滅	「ルプルプ音」
ペアリングモード	電源ONの後、探索モードになります	赤/青交互点滅	「プピ音」
ペアリングなし	ペアリング（探索）モードが5分間継続	赤/青交互点滅（5分後自動電源切）	ー
ペアリング完了	（端末側でも確認できます）	5秒間隔青1回点滅	「プピ音」
スタンバイ（待機）	着信待ちの状態	5秒間隔青1回点滅	ー
接続解除（Disconnect）	接続機器とのリンクが外れた時など	赤/青交互点滅（3分後自動電源切）	「ピプ音」
音量を上げる	VOL+ボタンを押す	ー	ー
音量を下げる	VOL−ボタンを押す	ー	ー
再生開始/一時停止	接続中、メインスイッチを1回押す	マルチポイントでは1台目のみ	ー
リダイヤル	メインスイッチを短く早く2回押す	ー	ー
Siri起動（iPhone）	VOL+を短く早く2回押す	ー	「ポッ」
着信	ー	ー	着信音など
受話選択	メインスイッチを1回押す	ー	ー
終話選択	メインスイッチを1回押す	ー	ー
通話中	ー	ー	ー
接続切り替え	イヤホン側ではできません	ー	ー
着信拒否	着信時、メインスイッチを 1秒間押す	ー	ー
充電警告	電池残量10～20%未満で警告開始	5秒毎に赤点滅	60秒ごと「ププ」
充電中	ー	赤点灯	ー
充電完了	ー	消灯	ー
リセット	（リセット機能はついておりません）	ー	ー

代表機種のペアリング手順

※必ず携帯電話・スマートフォンの取扱説明書を読んでから手順をご確認ください。携帯電話・スマートフォンのソフトウェアバージョンアップにより方法が異なる場合もあります。
※「BTE○○○」には商品の品番（数字）が表示されます。（本製品はBTE20Xと表示されます）
※手順は概略ですので一字一句正確なものではありません。確認及び選択時の決定キー操作などが省略されている場合があります。

iPhone（例：Apple iPhone13/iOS15）

1	[ホーム画面]を開いて[設定]を選択してください
2	[Bluetooth]をONにしてください（右にスライド）
3	イヤホン本体をペアリングモードにしてください（LEDランプが赤/青交互点滅になる）
4	自動的にデバイスのスキャンが始まります
5	スキャンが終わると、数秒～十数秒で[デバイス]のリストに「BTE20X 」と表示が出ます
6	表示されたリストのBTE20Xをタップしてください
7	[自分のデバイス]というリストが現れ、「BTE20X 」が表示され、その右に「接続済み」という表示が加わります
8	イヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になります

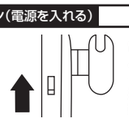
Android OS Ver.10 スマートフォン [例:Galaxy S20 5G SC-51A（docomo）]

1	ホーム画面表示からアプリボタンを押す
2	[設定]を押して選択する。
3	リスト内[Bluetooth]のスイッチを右にスライドさせONにする
4	Bluetoothを選択。
5	イヤホン本体をペアリングモードにする（LEDランプが赤/青交互点滅になる。）
6	[機器の検索]をタップ
7	[使用可能な機器]リストに[BTE20X]が表示されます
8	表示されたリストの[BTE20X]をタップする
9	[ペアリングされた機器]リストのBTE20Xに[…に接続しました]と表示されイヤホンがスタンバイモード（自動接続完了）になる

※詳しい手順はご使用の携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

6 基本操作 ※取扱説明書Aの「③基本操作の説明」もご確認ください

電源オン（電源を入れる） →（電源オフ状態から）電源スイッチを入れる



電源切の状態から電源スイッチを下から上にスライドすると電源が入ります。
その後スタンバイモードになり、既に以前ペアリング済みの携帯電話が10m以内にあって、予めBluetooth機能を起動している状態であれば、相互で自動接続を試行します。 メモ ※1 ※2

電源を入れるとペアリングモードになります →【LED】赤、青交互に点滅した状態。周辺を探索しています

「プルプルと音が鳴る」

探索モード※接続を試行中（未接続） →【LED】赤・青交互点滅（5分間継続）

まだご使用になれません

ペアリングが未登録の状態か、以前ペアリング登録した携帯電話との再接続が成功していない状態です。携帯電話機側の設定でBluetooth機能との接続状況をご確認ください。もしくは上記「ペアリングの方法」をご確認になり、携帯電話とペアリングを行ってください。 メモ ※3

スタンバイモード（自動接続完了） →【LED】5秒ごと青1回点滅を継続）

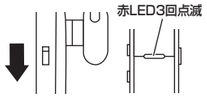
「ピピ」と音が鳴る

ご使用になれます

電源オンの状態で、ペアリング済みの携帯電話との接続がされている状態です。自動接続が完了するとこの状態になり、通話などの操作が可能になります。携帯電話側でもBluetoothの項目で接続は確認できます。 メモ ※4

電源オフ(電源を切る) → (電源オン状態から)電源スイッチを切る〜LED赤3回点滅

「ルプルプと音が鳴る」

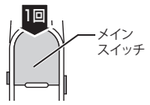


電源切の状態から電源スイッチを上から下にスライドすると、LEDが3回赤色点滅して電源オフになります。 ※5

着信 →着信音がイヤホンから聞こえます

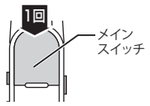
※着信中はスピーカーから着信音が聞こえます。
※一部の携帯電話機の仕様や設定によっては、相手の電話番号や連絡先名称が英語で読み上げられます。
※一部、携帯電話側で設定が必要な場合があります。
※着信音を変更することはできません。
※機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。 ※6

着信応答(電話を受ける)/通話 → (着信中)メインスイッチを短く1回押し



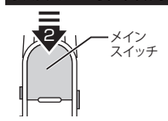
スタンバイモード中に着信があるとスピーカーから着信音が聞こえます。メインスイッチを短く1回押して電話を受けることができます。1秒以上長く押し続けると着信拒否になってしまうのでご注意ください。 ※7

終話(電話を切る) → (通話中)メインスイッチを短く1回押し



イヤホンを使っての通話中に終話したい場合は、着信時と同じようにメインスイッチを短く1回押します。長く押すと終話になりません。その後、スタンバイモードに戻ります。

ラストナンバーリダイヤルする → (自動接続完了のスタンバイモード中)メインスイッチを短く2回押し



メインスイッチを短く早く2回押すと、携帯電話を操作せずに、履歴に一番最後に残った番号に再発信します。携帯電話機をリセットや電源を入れ直したりしたりして履歴が消えると、ラストナンバーリダイヤルはできません。 ※8

イヤホンから携帯電話への通話切り替え → (通話中)携帯電話機側の操作

本機側での操作で、イヤホンから携帯電話本機への通話切り替えはできません。
携帯電話機側の画面操作で切り替えを行ってください。

音量調節 → ボリュームアップ(VOL+)キー/ボリュームダウン(VOL−)キーの操作

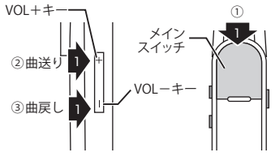
※9

ボリュームアップ(VOL+)キーを押すと受話音量が上がります。ボリュームダウン(VOL−)キーを押すと受話音量が下がります。
音量増減の段階は接続機種によって変わります。また、機種によってはこの操作で一番最大、最小の音量まで調整できない場合があります。
※音量は接続している携帯電話機のBluetooth音量設定と連動します。
※AVRCPでの音楽再生時のみに、ボリュームアップ(VOL+)キーを押すとビープ音で最大音量をお知らせします。
※VOL+キーを素早く2回押すと、携帯電話の音声案内機能が立ち上がる場合があります。

メモ

※1:一度ペアリングをした後は、イヤホンの電源を入れると、携帯電話を自動的に認識/接続してスタンバイモード(自動接続完了)になります。(自動認識/接続しない場合は、メインスイッチを一度押してください。再接続が試行され、接続できる場合があります)。
※2:※1で接続しない場合は携帯電話機側で手動で接続してください。
※3:イヤホンの電源オン後の自動接続に失敗したり、携帯電話の電源が切れていたり、BluetoothがOFFになっていると、このモードになります。
※4:携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetoothの接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。本製品をペアリング後、長期間使用していない場合はご使用になる前に携帯電話の使用可能な機器リストより本製品を接続しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE20X」を削除し、イヤホンの電源を切って充電した後、再度ペアリングをお試しください。
※5:イヤホンの電源をオフにすると携帯電話との接続が切れますが、ペアリングした携帯電話とのペアリング履歴は残ります。(最大8台分のペアリング履歴を記憶するマルチペアリング機能)
※6:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(通話ボタンを押すなど)して電話を受けることもできますが、携帯電話本体での通話となりますので、その後、携帯電話の手動による操作でイヤホンに切り替えてください。
※7:イヤホンを装着(使用)した状態でも、携帯電話を通常操作(終話ボタンを押すなど)して電話を切ることもできます。
※8:HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話を通常操作してダイヤルし、その後イヤホンに通話を切り替えてください。
※9:耳への障害を予防するため、音量を必要以上に上げすぎないでください。また、大きな音量での長時間の通話はおやめください。

・・・音楽再生やTV音声出力を楽しむ



●音楽再生/TV音声出力に使用する場合は、あらかじめ携帯電話のBluetooth設定で本製品をオーディオ(A2DP)プロファイルにも接続してください(自動認識してペアリング時に接続する携帯電話機もあります)。
●携帯電話の機種によっては、仕様により音楽再生及びTV音声出力時のボタン操作ができない場合があります。
●携帯電話の機種によっては、音楽再生及びTV音声出力時の着信応答操作などができない場合があります。

機能(上図①〜③の番号)	操作方法/説明
①再生/一時停止	(音楽/動画を起動した状態で)メインスイッチを短く1回押し
②曲送り(チャンネル送り)	(再生中に)ボリュームアップ(VOL+)キーを1秒長押し
③曲の頭出し(チャンネル戻し)	(再生中に)ボリュームダウンキー(VOL−)を1秒長押し

●音楽再生中の着信応答 ・・・・・・・・・・ 着信中にメインスイッチを短く1回押す(音楽は一時停止)
●電話を切る(終話)・・・・・・・・・・・・・・ 通話中にメインスイッチを短く1回押す
(音楽再生またはTV視聴に戻ります。)

7 マルチポイント(2台同時待ち受け)

本製品は同時に2台の携帯電話と接続が可能です。2台の携帯電話とマルチポイント接続すれば、どちらの携帯電話に着信があっても、本製品を操作して着信を受けることができます。

・・・ マルチポイントについて

※Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話ではマルチポイント接続できない場合があります。
※携帯電話機やOSのバージョンによってはマルチポイント接続できなかったり、マルチポイント接続時の機能が制限される場合があります。
●2台の携帯電話をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
①1台目の携帯電話(Bluetooth機器との再接続メニューがある携帯電話)をペアリングしてください。
②携帯電話機の操作により、携帯電話機のBluetooth機能をOFFにしてください。
③2台目の携帯電話を1台目と同じようにペアリング完了してください。
④最初にペアリングした携帯電話のBluetooth設定をONにして再接続してください。
⑤2台の携帯電話機のBluetooth設定(リスト)で本製品と接続状態になっているか確認してください。
※この場合1台目にペアリング登録した機種が接続順では2台目の端末となり、2台目にペアリング登録した端末が1台目に接続した端末となります。この時、ラストナンバーリダイヤルは最後に接続した接続端末の最終発信履歴にのみ対応します。
※マルチポイント接続した状態でイヤホンの電源をオフにすると、イヤホンと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、上記の②から再度設定してください。

・・・ マルチポイント時の通話に関する操作

●マルチポイント接続中(2台待ち受け時)は、どちらの携帯電話に着信があってもイヤホンから着信音が聞こえます。
着信応答、着信拒否などの操作は通常と同じです(→「6.基本操作」参照)。
※マルチポイントでご使用になっている場合に両方の接続端末に受信があっても、本製品側の操作で接続の受け渡しや保留の動作はできません。携帯電話機側の画面で操作を行ってください。

8 便利な機能

・・・ 充電池残量警告機能

●イヤホンの充電池残量が少なくなると、60秒ごとにイヤホンのスピーカーから音声で「プププ」と音声でお知らせし、イヤホンのLEDも60秒に赤が1回点滅します。そのまま使用を続けると電池残量がなくなり電源が切れてしまいますので、お早めに充電してください。

・・・ Siriを起動する(iOS5.1以上をインストールしたiPhone4s以上で対応) ※2022年10月現在)

●スタンバイモード時にイヤホンのVOL+キーを短く早く2回押すと、iPhoneのSiri(音声アシスタントサービスが起動し、)イヤホンを通しての音声入力がBluetoothのマイクで可能になります。起動した状態から終了させたい場合はVOL+キーを短く2回押してください。
●iPhoneでの音楽再生中にイヤホンのメインスイッチを長押しからVOL+キーを2回押すと、音楽が自動的に一時停止し、Siriが起動します。
※マルチポイント時は1台目に接続したiPhoneでのみ、Siri起動が可能です。
※上記操作はiOS及びAPPのアップデートなどにより、操作が変更もしくは限定される場合があります。

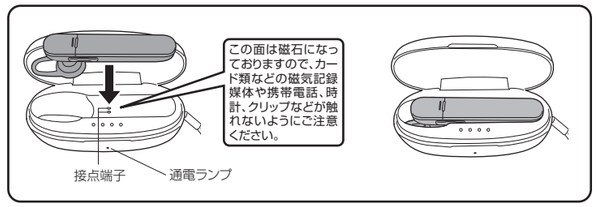
・・・ リンク切断後の再接続試行

●接続中の接続機種とイヤホンが通信範囲(見通し約10m)から離れた場合、「ピブ」と電子音が鳴り接続が解除されます。その後約300秒以内に通信範囲内に戻れば、自動で再接続を試行し、成功すると「ブピ」と電子音が聞こえます。
●300秒以内に10m以内に戻っても自動で接続しない場合は、携帯電話側にて手動で再接続してください。
●10m以上離れた状態のまま連続で300秒が経過するとイヤホンの電源が自動で切れます。この場合はその後、10m以内に戻った時、イヤホンの電源を入れ直して再接続を行ってください。
※自動で再接続できない場合は、接続機器から再接続をしてください。

9 充電ケース

・・・ 充電ケースの準備

●USBポート、プラグ内にホコリ、ゴミ、汚れ、液体の混入がないか、予めお確かめください。
●USBケーブルのUSB Type-Aプラグを通電状態のUSBポートやAC、DC充電器にゆっくり水平に挿してください。
●USB Type-Cプラグを、充電ケースの充電ポートにゆっくり水平に挿してください。
※イヤホン単体で充電する場合は、microUSBプラグを上下の向きに気をつけながら、イヤホンの充電ポートにゆっくり水平に差してください。
●イヤホンを充電ケースに戻してください。
※USB Type-Cで充電する場合、イヤホンと充電ケースの両方を充電しはじめます。
※充電時はイヤホンのLEDが赤色点灯し、充電ケースは赤色点灯をします。
※イヤホンの充電が終わると、イヤホンの赤色LEDは消灯し、充電ケースも充電完了で赤色LEDが消灯します。
※充電ケースが満充電でイヤホンに充電している場合、イヤホンのLEDは赤く点灯し、充電ケースのLEDは青に光ります。



・・・ 充電ケースでの充電

●イヤホンを充電ケースにセットしない状態で充電ケースを充電している時はケースのLEDは赤点灯します。充電ケースが満充電になると消灯します。
※イヤホンと充電ケースの接点端子を確実に接触させてください。
※この時、充電ケースを充電中にイヤホンを充電ケースにセットすると、充電ケース内側のLEDは青色も点灯してイヤホンとケースへの充電が同時に行われます。先にイヤホンの充電が終わると充電ケースの青LEDは消灯します。
※充電ケースを充電しながらイヤホンを脱着する動作を必要以上頻繁に繰り返すと、充電ケースの内蔵充電池の劣化を早めますのでご注意ください。
※イヤホンの内蔵充電池の劣化を抑えるために、充電ケースにイヤホンをセットした直後数秒の間、充電を一旦保留する自動電池保護機能が搭載されています。

充電時のLEDの光り方

LED位置 / 電池状態	イヤホン	充電ケース
残量ゼロ	充電を開始するまでは消灯	
充電中	満充電になるまで赤点灯	
充電待機	−	−
満充電	消灯	

※いずれもイヤホンは電源オフの状態

●充電ケースの状況は、電池残量青LEDでご確認ください。(下表を参照)
※充電状態の数値はあくまでも目安です。
※使用環境及び使用期間により異なります。

電池残量LEDの状態		バッテリー残量
○ ○ ○ ○	4個点灯	残量(約76〜100%)
○ ○ ○ ☼	3個点灯	残量(約51〜75%)
○ ○ ☼ •	2個点灯	残量(約26〜50%)
○ ☼ • •	1個点灯	残量(約1〜25%)
☼ • • •	1個点滅	残量(約0%)

• 消灯 ☼ 点滅 ○ 点灯

メモ

◆スタンバイモード(自動接続完了または未接続)のイヤホンを充電ケースにセットすると、イヤホンは一時的にスリープ状態になります。このため、イヤホンのLEDランプは赤点灯(電源オフで充電している場合と同じ表示)になり、携帯電話画面上のBluetooth接続表示(アイコンなど)も接続していない場合と同じ状態になります。

●充電ケースからイヤホンを取り外すとスリープが解除され、携帯電話と自動接続を試行します。

10 トラブルシューティング

●故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法
■携帯電話で検索(サーチ)しても「BTE20X」が表示されない
■ペアリングは完了したが接続できていない
■ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
■ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。
対処方法として下記の操作をお試しください。
①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
②イヤホンの電源をオフにして、再度電源をオンにする。
上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから「BTE20X」を削除し、一度イヤホンを充電した後、再度ペアリングしてください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンの充電池が充分に充電されていない可能性があります。
電源をオンにすると青点滅にならない	イヤホンがどの携帯電話ともペアリングされていない状態(お買い求め直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングモードにならない	すでに1度登録済みで接続されてしまっている携帯電話機が周囲にないかご確認ください。
ペアリングができない	電波が多く強い環境では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。
	携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認いただき、可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000 (ゼロを4つ)」です。
通話、受信ができない	携帯電話機のBluetooth設定画面で接続状態かどうかをご確認ください。
	一部の携帯電話機(SHARP製など)では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定が初期設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にするか、着信ごとに本機のメインスイッチを2秒長押しして、手動で携帯電話機と接続する事をお試しください。
	着信中にメインスイッチを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押してすぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。
	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。
	携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、近くに電子レンジ、自動扉、電波塔などの無線を妨害する機器や設備がなどがないか確認してください。
	携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話とイヤホンとの間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。
	音量が小さくなっている可能性があります。音量を調節してください。
	携帯電話機側にマイク、スピーカーが受け渡されている可能性がります。携帯電話機の画面を確認して、手動で本機と接続を試してみてください。
	機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。
イヤホンから発信ダイヤルできない	イヤホンの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル(履歴に一番最後に残った番号)のみとなります。また、一度携帯電話機側で発信してから再度お試しください。
イヤホンからリダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、イヤホンからのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。
	HSP(イヤホンプロファイル)で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	携帯電話機と10m以上離れた時間が連続で約5分以上を超えると、省電力モードに移行し、電源が自動的に切れる仕様となっています。その場合は再度、電源を入れ直す作業が必要です。
ペアリング成功後、自動接続されない 携帯電話との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
	本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
TVの音声や音楽が聞こえない	携帯電話側がSCMS-T対応がどうかご確認ください。携帯電話が対応していない場合、TV放送は聞けません。
	ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
パソコンとの適合を知りたい	Bluetooth規格の性質上、パソコン側のBluetooth機器がHSP(イヤホンプロファイル)に対応していれば接続とご使用は可能ですが、細かい動作の確認は、OSやソフトウエアなどの互換性が影響することから、弊社ではパソコン個別機種との適合の検証はお受けしておりません。
通話/スタンバイ時間が短くなってきた	内蔵充電池は消耗品です。長期間の使用(充電と放電の繰り返し)により、通話時間/スタンバイ時間は少しずつ短くなります。充分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電池の寿命です。充電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
充電ケースの充電量や充電時間が短くなってきた	充電ケース内蔵の充電池は消耗品です。長期間の使用(充電と放電の繰り返し)により、少しずつ短くなります。充分に充電した状態で、充電時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電池の寿命です。充電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
イヤーピースが破損、紛失した	本製品に付属のイヤーピースは、保証対象外の消耗品です。本製品をお買い求めいただく場合は、弊社WEBサイトか商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(店頭販売の予定はございません)。
USBケーブル・充電ケースが破損・紛失した	保証期間内の製造の不注意による初期不具合は修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替え品の提供などはできませんのでご了承ください。
お買い求めいただく場合は、弊社WEBサイトか商品をお買い求めの販売店にお問い合わせください(店頭販売の予定はございません)。
マルチポイント接続ができない	一部の携帯電話などのBluetooth機器との再接続メニューがない機種同士は、本製品ではマルチポイント接続ができません。(Android端末)
マルチポイント接続中着信音が聞こえない	Bluetooth機器との再接続メニューがない携帯電話は、2台目として登録してください。
	マルチポイント接続している2台のうち、1台の携帯電話で通話中は、別の携帯電話に着信があってもイヤホンからは着信音は聞こえません。
	→「音が聞こえない、着信音が聞こえない」の項目もご確認ください。
	機種によっては、スピーカーから着信音が鳴りません。

※接続する携帯電話の取扱説明書も必ずご確認ください。

発売元
株式会社 セイワ 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内 (下のQRコードでもOK)

適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひご覧ください。
https://www.seiwa-c.co.jp

お客様サポートセンター (裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)
お客様サポートセンター… 0570(039)710
受付時間/AM10:00〜PM5:30月曜日〜金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1